

# のり養殖通報第1報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成30年9月21日発行

今年度ものり養殖通報の中で海況や留意点をお伝えしていきます。

本報は水質観測結果を中心に構成しました。

## 【海況】表層の栄養塩は場所により低レベル

- 9月18～19日の観測では、タラシオシラ等の小型の珪藻が多く透明度が低下した調査点が多かった。その影響で表層の栄養塩は内湾では部分的に低レベル、内房地区では窒素、リンともにさらに低い値を示している。  
表層水温は概ね24～26℃台で育苗開始適水温（23℃）よりやや高め、塩分は湾奥部がやや低めだが特に問題の無い値であった（表1）。

## 【今後の留意点】 栄養塩の回復、水温降下、台風発生の無いタイミングを見極めて

- 栄養塩の回復と適水温（23℃）からの低下傾向のタイミングを見極めて育苗を開始することが漁期最初の重要なポイント。
- 9月20日発表の1カ月予報では、気温は10月中旬まで平年を1～2℃上回る高め基調で推移すると予報されており、早期に育苗を開始した場合水温停滞の悪影響が懸念されます。
- 次回は10月1日に東京湾全域の水質観測を実施し、速やかに調査結果をお届けする予定です。育苗開始に向けた検討に活用してください。
- 以下のインターネットのサイトでは10日先までの予報を確認できます。台風の発生や接近にも十分に留意し育苗を開始してください。

ヨーロッパ中期予報センター（ECMWF）  
気象庁数値予報天気図

表1 水質観測結果（内湾9/18, 内房9/19）

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	25.9	26.3	8.5	1.5	122	6
盤洲Cブイ	25.9	30.0	8.4	3.2	122	24
盤洲Bブイ	26.3	29.7	8.5	2.5	76	14
盤洲Aブイ	26.0	29.3	8.6	3.2	190	32
富津ベタ	24.4	30.0	8.2	6.2	203	29
2海ほ下	24.8	30.0	8.4	2.8	84	3
1海ほ下	24.7	30.6	8.4	2.9	59	4
下洲ベタ	24.6	31.5	8.4	3.8	81	8
大貫ベタ	24.4	33.2	8.2	5.3	94	13

\*溶存無機態窒素（μg/l）、\*\*リン酸態リン（μg/l）

※ノリの健全な生育や高色調の保持に必要な目安＝窒素110、リン8

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。  
次回は10月2日頃発行します。